

## アドミッション・ポリシー

大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか

本学の建学の精神である「自然・生命・人間」を礎に、自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間としての謙虚な心を原点として、かけがえのない自然と人間を守るため、豊かな人間性と均衡のとれた知識と技能を有する「より良き臨床医」の育成を医学部の教育目標に掲げています。

医学部は、この教育目標を達成するために、医学知識および技能の教育にとどまらず、患者中心の医療を実践するための幅広い教養教育に基づいた豊かな人間性を涵養します。そして、少人数グループによる課題解決型学習を通して、進歩し続ける医学・医療に対応できるだけでなく、患者やその家族、他職種からの深い信頼を得られる医師を養成します。さらに、多様な語学教育を通じて、異なる文化・民族的背景を持つ人々への医療を提供できる人材の育成に努めます。

そこで、本学部は、以下のような資質を備えた人材を積極的に受け入れます。

### 医学的知識

医学的知識を修得するために必要な基礎学力を有している。

### 実践能力

医師としての基本的技能を修得するために必要な能動的学修者としての姿勢を有している。  
自らの行動を振り返り、主体的に自身の行動を改善する姿勢を有している。

### 患者対応能力

他者の価値観を尊重する姿勢を有している。  
他者と良好な関係を築くための基本的なコミュニケーション能力を有している。

### 科学的探究心

自然・生命現象に対する強い興味・関心を有している。  
事実や意見、データなどから、適切な情報を読み解く力と、問題意識に基づいてまとめる力を有している。

### 社会・地域への貢献

社会情勢に対する強い興味・関心を有している。  
地域・社会における医療の役割を積極的に考える姿勢を有している。

### 国際性

異なる文化・民族的背景を持つ人に配慮する姿勢を有している。  
外国語の修得に熱心である。